

📖 研究部だより

令和6年 10月 30日発行

第4号

秋も深まり小中学部は学習発表会、高等部は蘭学祭に向けた準備が始まっていますね！大きな行事に向けて時折休憩を挟みながら、頑張りましょう！今号では中学部3年生のICT機器を活用した授業実践を紹介します。

ICTを活用した授業実践

中学部 生活単元学習 単元名「見学旅行 事後学習」

授業者 鈴木和・木村

対象生徒の様子

- ・昨年度の学習で、タブレット端末を使用し、美術の授業で振り返りをしていたこと（ジャムボード）の経験から、検索や文字入力、画像のコピー＆ペーストなどの基本的なタブレット操作については慣れている生徒が多い。
- ・休み時間はyoutubeで動画を見ている生徒が多い。
- ・タブレット端末を使用した検索方法は理解しているが、知りたい情報を的確に検索するための言葉は分からないなどの課題がある。

ICT活用の意図

- ・タブレット端末を使用することで、多数の写真の中から容易に選択できる。また、印刷した写真を切り貼りして作成する振り返りシートでは、作業自体に時間が掛かる生徒も多いが、タブレット端末を使用することで修正や貼り付けが容易になる。
- ・文字を書くことが難しい生徒でも文字を選んだり、音声入力をしたりすることで入力や挿入ができ、一人で取り組むことができる。
- ・作成したデータを友達に送りすぐに共有したり、テレビに映して発表したりすることができ、達成感や主体的な振り返りの学習になる。

ICT活用の成果

- ・見学旅行の事後学習として、旅行中に撮影した写真の中から各見学場所の写真を1枚選び、Figmaのホワイトボード上にまとめる学習を行ったが、自分で操作することで、集中して学習できる生徒が多かった。
- ・始めの操作工程を説明した後は、教師が言葉掛けをしなくても一人で取り組むことができていた。一人で取り組むことが難しい生徒もいたが、隣の友達が画面を見せてあげたり、友達の画面と比較したりすることで自ら操作に取り組もうとする様子も見られた。

